

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～小田原 お城と武家屋敷跡、明治の別荘跡の秋を訪ねて～

日時：2024年11月13日(水) 16日(土) 10:00～14:30

場所：小田原市

参加者：一般 33名（13日 19名、16日 14名） スタッフ 9名（のべ）

小田原駅をスタート。お堀端通りの眼鏡橋を渡り馬出門から城内へ。丁度 16 日は市のツーデーマーチを開催中だったので特別に銅（あかがね）門の楼閣に上ることができました。それから城内のビヤクシン、クスノキ、ビランジュ、オガタマノキ等を観察し二宮神社を通りいったん外に出ました。山角天神の丘から海を眺めた次は西海子小路にある小田原文学館へ。おなかの空いた班はそこでお昼、元気な班は御幸の浜まで歩きお昼休憩を取りました。午後は再び小田原城を目指し北条時代の正門があった旧箱根口から城内へ。旧箱根口では東に延びる三の丸土塁がまだ残されていました。イヌマキの巨木を観察した後常盤木門から本丸に入りました。本丸では菊の展覧会が開催されており丁寧に育て上げられた菊を鑑賞しました。本丸からの坂を下る途中では多くのオオバヤドリギを観察出来ました。最後はミナカの屋上展望台から小田原の街と海を眺め解散しました。小田原は歴史と自然とが調和した素敵な街でした。

（鈴置記）



二の丸お濠



銅（あかがね）門



ビヤクシンの大木



小田原文学館



御幸の浜

本丸での菊展覧会

